

# まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

108号

2009年4月27日



ときわ台の景観を守る会

ときわ台まちづくり委員会

代表 鈴木博之 近藤洋子

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

## ○ 行政訴訟日程変更

前号で第2回口頭弁論を5月18日とお知らせしましたが、

**6月2日(火) 11時30分  
於 522号法廷**

に変更となりました。お間違いのないようお願い致します。

前回に引き続き、原告側から主として児童の交通安全について意見陳述する予定です。

開かずの踏み切り間際の車両の合流の影響・いい加減に出された警察の同意書・消防車の出入りの問題など、問題ばかりです。

傍聴者の人数によって裁判官が住民の熱意を測るのも確かでしょうから、ぜひ傍聴にお出で下さい。

## ○ 「みどりのガイドブック」原画展

先月、しゃれ街協議会から全戸に「みどりのガイドブック 保存版」が配られました。

そのイラストを担当した柄澤容輔氏の原画展が服部ギャラリー(日本書道美術館横の台形クルドサックに面したところ)で開かれます。

**5月1日(金)～5月5日(火)**

**10:00～17:00**

最終日は16:00まで 入場無料

同時にしゃれ街協議会設立の経緯・活動報告、昔の常盤台の写真なども展示されるそうです。

## ○ 都市建設委員会(4月16日)を傍聴して

### 1、上板橋南口再開発問題

隣の上板橋南口では、5年前から再開発の計画が起き、100mぐらいの高層マンションが3棟も建てられるということで、地元住民が反対している。企画から5年経つと再開発計画も見直しを迫られるということで、そろそろ期限が来るそうだ。住民の三分の二の賛成が未だに得られないのは、計画に無理があるからに違いないのだが、どうしても強引に建設したいという勢力があるのだろう。住民の意思がなぜ尊重できないのか不思議なことだ。

### 2、コミュニティバス試験運行問題

東上線と地下鉄三田線しか通っていない板橋区では、その間に挟まれた区域の人たちの交通環境の改善が望まれるのだが、東西に走るこの2線を南北につなぐ循環型のバス路線案が提起された。国際興業バスの試算が出て、5路線が検討され、西台や前野町と常盤台駅を回る路線は2番目の候補になっていた。1番目は下赤塚駅と赤塚大仏・区立美術館などを結ぶ路線で、最大8千万の赤字を覚悟で1年間試験運行したいという。結果は他の経路の住民のことをもう少し考慮したらという意見で継続審議となった。ある議員が区と業者だけで進めず、住民参加を求めてはどうかと言っていたが、もっともなことだ。私達も放置自転車対策としてミニバスの循環を提案したことがあったが、その時は軽く一蹴されてしまった。今回も縦割り行政の欠陥であろうが、放置自転車の問題がまったく考慮されていなかった。こういうことが検討されている事さえ区民に知らされていないのは、住民不在の行政と言われてもしかたがないのでは。

## 常盤台で見かける鳥

ー カラス・オナガ・シジュウカラ

ツーピイ、ツーピイという可愛らしい声で鳴くのはシジュウカラです。白と黒のツートンカラーで常盤台でも繁殖しているようです。

先日、珍しくオナガのつがいが電線にとまっていた。何十年も前は、青と紺と白という美しいこの鳥が、群れを成していたものです。ギャーという悪声の持ち主なのが玉に瑕でしょう。

声といえば、冬のある日、変な声が聞こえてきたので上を見上げると、黄色いインコが二羽、電線にとまっていました。ペットが逃げたものではなく、完全に野生化していました。インコでは各地で話題になっているワカケホンセイインコはまだ常盤台では見たことがないのですが、どなたか見かけたでしょうか。

またまたカラスの繁殖期になりました。困ったものです。わざわざ遠くからやってきて、カラスやハトに餌をばらまく人もいます。区役所の立てた看板も無視しています。神経質な人とはもめごとにもなりかねません。

針金のハンガーが落ちていれば、その近所にカラスの巣があるはず。雛が孵ると警戒心の強い親鳥が襲ってくるのも困りものです。

## 不法看板の撤去

前号で公園のボランティアで常盤台住民以外の協力があるのをお知らせしましたが、同じような近所の協力はほかにもあります。

電柱や路上の看板や広告は、不法にとりつけてあっても所有者がいるので、やたらに捨てることのできないのですが、区の撤去員の登録をした人なら可能です。私達の会員十人ほどが登録しており、目に余る広告は取り外しています。

ある日、通りの電柱にずらっと針金で縛り付けられた広告をはずしていたら、向こうから見慣れぬ男性が撤去作業をしながらやって来ます。言葉を交わすと、前野町のある集合住宅の管理人さんでした。前野町に限らず、見かけると撤去しているとのこと。ちゃんと首から撤去許可証を下げていました。

## 白昼のタヌキ

三月二十九日午後四時ごろ、前野町に近い商店街を一匹のタヌキが歩いていました。通行人が「あつ、タヌキだ」と騒ぐのも気にもせず、トボトボと、でも大人の早足でも追いつかない速さで、バス通りを横切り、裏の細い道に入って駐車場で忽然と見えなくなりました。毛並みが悪く、年を取っているのか病気のような感じを受けました。行動時間の感覚が狂ってしまったのでしょうか。こんな明るい街中でタヌキに出会ったので、みんなびっくりしていました。

## 常盤台公園の花づくり

今年のチューリップはどうでしたか？ 来年のリクエストがありましたらご遠慮なく仰って下さい。

挑戦中のバラの蕾が例年より多いような気がして楽しみです。早いものはもう咲き出しています。

バラで気をつけるのは病気と共に害虫です。クロケシツブチョッキリという虫を知っていますか。別名バラゾウムシとも言います。ゾウムシという名の通り、あのお米粒の中を這い回っていたコクゾウムシにそっくりです。まあコクゾウムシを知っているのは、お若い方にはないでしょうけど……

これがバラの大敵で、はつと気が付くと、若芽や蕾が萎れてためにされてしまうのです。公園にはあまり薬品をいたくないので、「テデール」しか有効ではありません。そこで私達がまだ咲いても居ないバラの前でためつすがめつしている姿を、ごらんになるかもしれません。この虫や他の害虫を探しているのです。それにしてもチョッキリという名前は、チョッキンと切り取る様子が現れていて、なんだか可笑しい命名ですね。

定例会 五月十六日（土）七時

一・二丁目町会事務所